



台風に備え、内水排除訓練を行いました!!

9月・10月は特に台風や秋雨前線の影響により大雨が心配される時期です。

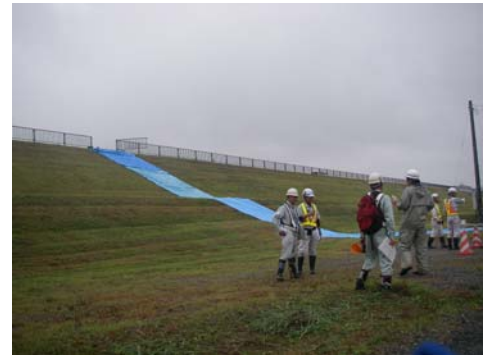
そこで、一関出張所では9/21(金)に、小雨の降る中、太田川左岸の鈴沢川排水樋管にて排水ポンプ車による内水排除訓練を行いました。内水被害が発生するおそれのある場合には、自治体から要請を受けて排水ポンプ車が出動します。今回、この場所にポンプを設置するためには堤防上を走る平泉町道を通行止めにする必要があることから、初めて平泉町と合同で訓練を行いました。



木村出張所長による訓練開始の号令



菅原平泉町長からもご挨拶頂きました



内水排除に至るまでの作業の流れを確認

訓練は内水により町道が冠水し、宅地まで浸水する危険があるとの想定で平泉町によるポンプ車出動の要請、ポンプを設置する堤防上の町道通行止め、ポンプ等の設置と実際に内水被害が発生した場合の流れも確認しながら行いました。



↑人力でホースの接続をします。

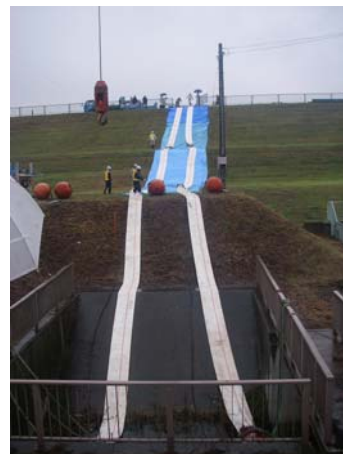


クレーン車でホースと接続した水中ポンプを下ろします。(実際には浮輪(写真内のオレンジ色のもの)も接続します。)

写真右は、排水ピットという施設で、ポンプ設置スペースとして鈴沢川排水樋管に整備されているものです。



↑堤防上の町道には緊急車両が通行できるようにホースブリッジを設置。



↑堤外側(河川側)設置完了!!

←堤外側(宅地側)も設置完了!!

訓練開始から約1時間で無事に設置完了し、内水被害に備える訓練は終了しましたが、ポンプ車要請のタイミング、町道を通り止めにした場合の迂回路の設定や、より手際よくポンプを設置するための手順確認など、平泉町、河川管理者双方とも課題が見えたので、今後の台風に備え万全を期したいと思います。

内水被害とは？

大雨による洪水で発生する被害で、本川の水位が上昇することにより、支川の水が本川に流れることができなくなり、支川に溜まった水が行き場を失って住宅地等に溢れ出す事象をいいます。
(今回の訓練場所というと本川が太田川、支川が鈴沢川ということになります。)



←H24.5
出水時の内水による浸水状況
(鈴沢川)



←訓練時に撮影した平常時の状況

排水ポンプ車とは？

排水ポンプ車とは、水中ポンプを搭載し、ポンプの操作を行う機械とポンプを動かす発電機を搭載した災害対策車両です。今回の訓練で使用した排水ポンプ車は、1分間に60m³の水を吐き出す能力(25mプールを約6分で空にできる能力!!)のあるポンプを搭載した車両です。

一関出張所管内には毎分60m³の車両が3台、毎分30m³の車両が1台の計4台の車両が配備されています。



←排水ポンプ車
(赤丸がポンプの操作盤及び発電機です。)



←60m³/分のポンプのため、設置するにはクレーン車が必要になります。

秋の遅い訪れをカゲロウも知らせています。

先週、日が落ちてから出張所構内にある外灯や、北上川・磐井川に架かる橋の照明灯に大量のカゲロウが群飛しているのを見かけました。カゲロウ類は幼虫時には川の中に棲む水生生物です。

例年、夏から秋にかけて成虫となるのですが、北上川や磐井川で今年ほど大量の群飛を見かけるたことはなく、長く続いた猛暑や渇水が関係したからでしょうか・・・？



東大橋の照明灯に群飛するカゲロウ



儂い一生を終えたカゲロウの死骸



飛んでいた成虫(3cm程度)
オオシロカゲロウと思われます。

今週になって、カゲロウ発生のはピークは過ぎたようですが、河川に架かる橋の照明に群がるカゲロウが運転の視界の妨げになったり、車道に堆積したカゲロウの死骸でスリップ事故の原因にもなると言われています。自動車など運転される方はスピードを落とすなど気をつけてください。